

平成21年度地区別市政懇談会意見・要望 南地区

平成21年11月9日

No.	質問内容	地区別市政懇談会における回答	現在の状況及び今後の対応等の補足	担当課
1	自治会長も数年ごとに交代してしまい、現状も掴みきれない状態なので、計画については広く公開をして、市民から自由に意見を聞けるように工夫してほしい。	策定委員を通じて周知しているが、非常に懸念している部分なので、努力していきたい。	地域まちづくり計画の策定は、地域の理解と協力により、地区まちづくり委員会が主体となった策定会議を設置していただき、中間報告としてタウンミーティングで広く地域住民の方々へ計画案を公表し、意見を聞きながら市に地域の計画案を提案していただきました。 今後は、これらを踏まえて市が計画策定を進めていく中で、引き続き広く意見をお聞きしながら進めていきます。	企画課
2	就労状況や貧困率など経済状況や子どもの数の推移などを見て計画を考えるべきではないか。	地域まちづくり計画では議論はしていないが、総合計画全体を考える上で、重要な案件となってくると思う。	新総合計画の策定の基礎調査として、社会経済動向の分析調査や市民意識調査を実施いたしました。 引き続き、調査結果をよく見極め、時代の流れを的確に捉えた計画の策定に取り組んでいきます。	企画課
3	西大竹堀川線の南側を商業地域として開発すると計画にあるが、観光資源である震生湖につながる貴重な自然なので、残すようにしてほしい。	趣旨は理解できたので、今後の策定会議のなかで議論していきたい。	地域まちづくり計画策定会議では、西大竹堀川線の南側の区域については、商業的土地利用に限定せず、新たな土地利用を図るなど提案がありました。一方では、貴重な資源として残すという御意見もあります。 いずれにせよ、現況では市街化調整区域という規制のある状況ですので、長期的土地利用の展望に立って検討したいと思います。	企画課
4	地域まちづくり計画の現状では、渋沢丘陵や震生湖周辺の自然についていいことばかり書かれているが、農地の遊休化など荒廃している部分もあるので、よく分析してほしい。	参考意見	提案いただいた地域まちづくり計画案を基に、今後、市で地域まちづくり計画の策定作業を進めますが、御意見も踏まえて検討いたします。	企画課
5	震生湖周辺の農地を活かした花畑や散策路の設置については、問題があると思うが行政と協力してぜひ実現してほしい。 周辺道路の整備も合わせて計画に加えてほしい。	震生湖周辺の整備について、よく相談をして、しっかり整備していきたい。	農家とボランティア組織による「花摘み園」の取り組みや農協が実施する市民農園「さわやか農園」の開設をしています。	農産課
			震生湖周辺整備については、よく相談をしていきたい。	観光課

平成21年度地区別市政懇談会意見・要望 南地区

平成21年11月9日

No.	質問内容	地区別市政懇談会における回答	現在の状況及び今後の対応等の補足	担当課
6	自治会として平沢の西光寺周辺の道路拡張を申請したが、回答がなく、引継ぎもされていない状況である。どうなっているのか、回答を聞きたい。	引継ぎがされていないことについては、注意していく。 具体的なことは確認して、回答したい。	要望の生活道路については、道路後退で対応していきます。	建設管理課
7	秦野駅南口のせせらぎは現状のままでは藻が生えて恥ずかしい状態だと思うが、どうするのか。	尾尻諏訪原線を含めた秦野駅南口の整備のあり方を改めて検証して、できることからやっていきたい。	このせせらぎは湧水を利用していますが、水量が少なく、せせらぎの勾配も緩いため水がゆっくり流れることから、藻が発生すると思われます。 市では、3ヶ月毎にせせらぎの清掃をしています。	道路公園維持課
			尾尻諏訪原線の整備にあたっては、沿道区域を含めた一体的な整備が必要でありますので、今後地元調整を実施し事業化を図ります。	都市づくり課
8	地域まちづくり計画の基本目標には清掃、美化活動を強化するとあるが、街路樹の剪定など手入れされていないところもあり、目標とするには難しいのではないか。	街路樹については概ね3年から5年に1回の割合で剪定をしているが、できる範囲で行っている。高木については、市が管理していく。	定期的な剪定のほか、通行に支障となる樹木については、枝打ち等の対応をしています。	道路公園維持課
9	計画を実行するには、自治会や子供会、老人会など地域の組織の加入率など組織力を上げなければならないのではないか。	自治会については、行政と自治会が連携して加入率向上に向けた取り組みをしているので、今後も続けていく。	子ども会発行の「秦野っ子」などの媒体を通じて加入促進を図っていきたい。	こども育成課
			老人クラブ会員の加入率は、高齢者人口の伸びに比べ低下しているので、老人クラブ連合会にクラブ活動が活性化するように働きかけています。	高齢介護課
10	鈴張町にあった市営住宅跡地周辺には、子ども広場や地域の災害時避難場所もあるが、今後の利用計画はどのようか。	市営住宅は老朽化していることもあり、整理整頓している。土地の利用については、今後市全体の貴重な財産として、新たな計画の中で考えていきたい。	懇談会における回答と同じ	財産管理課

平成21年度地区別市政懇談会意見・要望 南地区

平成21年11月9日

No.	質問内容	地区別市政懇談会における回答	現在の状況及び今後の対応等の補足	担当課
11	<p>国保の特定健診の案内について、一斉に通知されると医療機関が混雑するので、通知の時期や受診期間について一考してほしい。</p>	<p>20年度から始まった制度で医師会と調整しながら試行錯誤している。 受診期間については年度末まで延長する。 通知方法等については、医師会と調整して、受診しやすい方法を取っていききたい。</p>	<p>特定健診の受診券については、対象者全員に一斉通知しているので、医療機関へ電話等で予約をし、受診される旨、受診券に記載しています。 なお、受診期間については医師会と調整し、年度末まで受診できるよう期間を延長し、受診率の拡大を図っていききたい。</p>	<p>国保年金課</p>
12	<p>市職員や議員は給料をもらってやっているが、自治会は任意団体で、役員は無報酬でやっている。 それでも災害時には平等に取り扱ってほしいと聞いたが、市はどう考えるか。</p>	<p>市が基本的にやらなければならないことは、責任がある。 自治会は市政運営における両輪の輪であり、市民の力なくして役所だけでは仕事ができるはずがない。市民の支えで運営ができていく。</p>	<p>懇談会における回答と同じ</p>	
13	<p>丹沢は山ヒル・ダニが増えているが、対策はどうなっているのか。</p>	<p>すぐに解決できる問題ではないが、一世紀の森林づくり構想によって、里地里山を整備していく。県とも連携して、水源環境保全税を活用して整備を続けていく。</p>	<p>山ビルを減らすには薬剤の散布などの科学的防除や山ビルを集める物理的防除がありますが、水資源を地下水に頼る本市では薬剤を使用しない草の刈り払いや除間伐によって森林に山ビルが生息できない環境にする環境的防除を採用して、山ビルの減少を目指しています。</p>	<p>森林づくり課</p>
14	<p>野焼きも山の管理には必要だと思うが、ダイオキシンなどの問題でなくなってきている。 新しい学説では、自然物を燃やすことは害がないという考えなどもあるので、しっかり研究してほしい。</p>	<p>要望</p>	<p>国立環境研究所によると、枯葉、紙、木材などを燃やすときに、塩化ビニルが1%でも混じるとダイオキシン発生量が2桁増大することや、枯葉、木材、紙のみを野焼きで焼却するときにダイオキシンは発生するが神経質になるほどではないと報告されています。 人体に対する害や、環境に対する悪影響を評価するときには、ダイオキシンだけに注目するのではなく、煙は何よりも近所迷惑となることや、煙を直接吸い込めば目や気管の粘膜が侵される危険があることなど、様々な要因を考えて総合的に評価する必要があります。</p>	<p>環境保全課</p>